

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	益子 俊志		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 4		
講義室	1316	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP4-F[探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G[状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J[創造的挑戦力・達成力] コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8-M[省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F1探求と論拠-20% G1状況把握-40% I1理解・分析と読解-20% J1継続的学修基盤-10% M1統合的・応用的学修-10%		
教員の実務経験	担当教員は日本スポーツ協会公認コーチ資格を有し、大学・社会人チームの監督コーチを経験してきました。担当科目では在職中の経験等の話も交えながら、コーチング理論を日常生活（キャリア形成含）や健康・スポーツの現場での実践や研究ができるよう、これまでの知見と経験を活かしたゼミナールを行います。（第5回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は、演習により行います。なお、授業を補充・代替するためオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れます。 （キーワード）研究、省察、反省的实践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践 ■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループで研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。 ■授業のポイント 研究の進め方についてはスポーツコーチング学またはコーチングマネジメントの手法を用いて学習します。		
総合到達目標	■コーチング学の研究について自身またグループ間で検討を重ね、その研究計画を立案、作成し、それに基づき計画を実行するために、結果の考察までをまとめ、発表を行うことができる。 ・自身の興味のある分野、領域の研究の進め方について選択すべき方法などを説明することができる。 ・他者との議論を重ね、自身およびグループの研究テーマを検討することができる。 ・他競技と比較し、自身の研究内容に反映することができる。		
成績評価方法	■レポート3回（30%） F 1、I 1、M 1 （評価の観点）授業内容を踏まえて論理立てて明確に自分の考えを示せることや、課題が正確に取り組まれているかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に「講評」を行います。 ■授業参加度（発言等）15回（40%） G 1、J 1、M 1 （評価の観点）発言、質問、意見交換等、授業構築への参加度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に「講評」を行います。 ■実技・パフォーマンス（プレゼンテーション等）1回（30%） F 1、G 1、M 1		

	(評価の観点) 自身の研究計画を発表し、その内容について評価を行います。 (フィードバックの方法) 各パフォーマンス後に「講評」を行います。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習(120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習(120分) ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
	2	①授業テーマ 競技の発達史 ②授業概要 自身の競技の発達史について概要を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身の競技の発達とはどのような経緯があったのか大まかに整理しておく。 ④復習(120分) 自身の競技の発達についての説明できるよう整理する。
	3	①授業テーマ 文献収集の方法 ②授業概要 自身にテーマにあった文献を収集するために、どのような方法で収集するのかを整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身に即した文献について、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ必要な文献を収集するための情報を整理しておく。
	4	①授業テーマ 文献収集 ②授業概要 先行研究に関する文献や自分が興味のある文献を収集しそれを整理し、説明することができる。(F1、I1、J1)。 ③予習(120分) 自身の課題に即した文献の収集について、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身の課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	5	①授業テーマ 文献討議 ②授業概要 グループの中で先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) 担当教員の実務経験を踏まえて内容と方法が適切か重点的に講義します。 ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	6	①授業テーマ 文献討議発表 ②授業概要 グループで討議した内容を発表しさらに討議を深めることができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献の討議内容を整理し、発表の準備をしておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について発表したものをさらに深掘して、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	7	①授業テーマ 競技の歴史・文化 ②授業概要 自身の競技の歴史・文化について概要を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1)。 ③予習(120分) 自身の競技の歴史・文化とはどのような経緯があったのか大まかに整理しておくこと。 ④復習(120分) 自身の競技の歴史・文化についての説明できるよう整理しておく。
	8	①授業テーマ 文献収集 ②授業概要 先行研究に関する文献や自分が興味のある文献を収集して整理し、説明することができる。(F1、I1、J1)。 ③予習(120分) 自身の課題に即した文献の収集について、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身の課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	9	①授業テーマ 文献討議 ②授業概要 グループの中で先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	10	①授業テーマ 文献討議発表 ②授業概要 グループで討議した内容を発表しさらに討議を深めることができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献の討議内容を整理し、発表の準備をしておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について発表したものをさらに深掘して、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	11	①授業テーマ 競技規則の変遷・構造 ②授業概要 自身の競技規則変遷・構造の概要を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身の競技規則の変遷・構造とはどのようなことが大まかに整理しておく。 ④復習(120分) 自身の競技規則の変遷・構造についての説明できるよう整理する。
	12	①授業テーマ 文献収集 ②授業概要 先行研究に関する文献や自分が興味のある文献を収集し整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身の課題に即した文献の収集について、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身の課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	13	①授業テーマ 文献討議 ②授業概要 グループの中で先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。

	④復習（120分） 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
14	①授業テーマ 文献討議発表 ②授業概要 グループで討議した内容を発表しさらに討議を深めることができる。（F 1、I 1、J 1） ③予習（120分） 自身もしくはグループの課題に即した文献の討議内容を整理し、発表の準備をしておく。 ④復習（120分） 自身の選んだ文献の研究手法や結果について発表したものをさらに深堀して、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
15	①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報を整理する。（F 1、G 1、I 1、J 1、M 1） ③予習（120分） 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。 ④復習（120分） ゼミナールⅡに向けて必要な文献の整理を行っておく。
関連科目	コーチング学研究法演習 SSCS2317
教科書	特に使用しません。
参考書・参考URL	特に使用しません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に通知します。 ■オフィスアワー 時間については事前のアポイントメントによって対応します。
研究比率	

